公益社団法人 府中市シルバー人材センター広報紙

ふれあい

2015年7月
現在の会員数
男性 1,238名
女性 491名
合計 1,729名

2015年/7月
146号

題字 府中市長 高野律雄 書

公益社団法人府中市シルバー人材センター発行/府中市寿町3-2 ふれあい会館2F/TEL042-366-2322



第66回定時総会開催（ふるさとホール）



永年就業会員の表彰

●目　次

■平成27年度「第66回定時総会」・「第1回臨時理事会」…… 2
■会長就任挨拶・会長退任挨拶…… 3
■多摩川ボランティア清掃…… 4
■小学生・高齢者「自転車競技大会」…… 4
■役員・班長・地域委員合同会議…… 4
■多摩地区5市の「合同シルバーまつり」…… 5
■働く会員の職場訪問「お助け隊」…… 5
■シニアのための「スマートフォン教室」…… 6
■生涯現役！輝くシルバーさん③…… 6
■シルバー会員懇談会…… 7
■会員さんからの投稿…… 7
■役員・会員表彰…… 8
■お知らせ…… 8

平成27年度「第66回定時総会」

6月19日（金）午後1時より、府中の森芸術劇場ふるさとホールでセンターの第66回定時総会が開催されました。

松田常務理事の司会で開始され、棟方会長の挨拶や高野律雄市長(写真)をはじめ、来賓の方からの祝辞や祝電の披露がありました。

センター会員として10年継続就業の56名の会員が表彰され、代表で堀川秋雄さんと小山郁子さんに表彰状が授与されました。役員表彰では今回退任の棟方会長・小林副会長・澤村理事が表彰されました。

総会の議長には棟方会長が選任されました。小林副会長より出席者と委任状提出者が定足数を超え、本総会が有効に成立した旨の報告がありました。和田監事から監査報告があり平成26年度の会計及び業務が適正であると認められると報告されました。

第1号議案の「総会議事運営規則」が徳田理事より説明され承認されました。次に「平成26年度事業実施報告」が田嶋理事より報告され、続いて第2号議案の「平成26年度決算」が宮澤理事より説明があり、質疑応答後可決されました。

第3号議案の「理事候補者12名と監事候補者1名の役員候補者」が提案され、全員の紹介の後可決されました。次に、報告2の「平成27年度事業計画」が澤村理事より、報告3の「平成27年度収支予算」が近藤理事より報告、了承され、すべての議事が滞りなく終了しました。









第1回臨時理事会

第1回臨時理事会「第66回定時総会」の終了後、臨時理事会が開催されました。

総会で承認された役員から、会長・副会長等の選任が行われました。

《決議事項》

渋谷彰会長、山口弘美副会長が推薦され可決承認されました。

会長就任の挨拶

「市民から信頼と期待されるセンターへ」

渋谷彰



この度の定時総会後の理事会におきまして、会長の大役を仰せつかることとなりました。浅学非才ではございますが、会員の皆様のご支援、ご協力をいただきながら、府中市シルバー人材センターの発展に、最善の努力をしてまいる所存でございます。

さて、今日の景気は、やや回復の兆しが見えてきたとはいえ、補助金の削減、就業機会の拡充や適正就業の確保など、センターを取り巻く環境はますます厳しく、不透明な状況となっております。

私は、過去5年間、常務理事としてセンター業務に携わってまいりましたが、そこで感じることは、センターが市民の方々から必要とされ、信頼され、すべての人から期待されるセンターでなくてはならないと言うことです。

これからは、日々変化する内外の環境要因に適切に対応し、会員が生きがいを感じると共に、会員、役員、職員が一体となって運営し、2年後には、活気ある輝かしい、設立40周年を迎えたいと思います。

会長　退任挨拶

「健康で、働く意欲をもって、生涯現役を」

棟方鷹揚



私は、平成27年6月19日の第66回定時総会を以って、会長を退任いたしました。

平成18年1月にセンターに入会し、宮西町3丁目に住み、班長2年、理事6年3ケ月を務めさせていただきました。

この間、少子高齢化が進行し、センターを取り巻く社会・経済環境は厳しい状況でしたが、「自主・自立・共働・共助」基本理念を意識し、健康で、働く意欲を持った会員の皆様の勤勉、誠実、責任ある就業を通じて、お客様、地域から信頼され、地域社会の支え手になること、生涯現役を目指す会員の皆様の「健康維持・増進」・「いきがい」・「社会参加」の実現を、会員の皆様のご理解、ご協力に支えられて取組み、センター事業の役割の一助を担えたことに、改めて、深く感謝申し上げたいと思います。

結びに、優れた人材の新役員体制によるセンターのますますのご発展と会員の皆様のご健勝とご活躍を心からお祈りを申し上げ、会長退任のご挨拶といたします。

平成27年度　新役員

会　長	渋谷　彰
副会長	山口　弘美
常務理事	松田　肇
理事（総務委員会委員長）	瀬谷　周三
理事（総務委員会副委員長）	橋本　征夫
理事（業務委員会委員長）	近藤　敦
理事（業務委員会副委員長）	智田　悦子
理事（業務委員会委員）	日下　優子
理事（広報委員会委員長）	徳田　豊彦
理事（地域委員会委員長）	松本　基男
理事（地域委員会副委員長）	芝辻　昌三
理事（地域委員）	齊藤　誠
理事（安全委員会委員長）	田嶋　淳
監事	和田　道夫
監事	髙木　政邦



多摩川ボランティア清掃に参加

5月24日（日）に府中市主催の多摩川ボランティア清掃が開催され、例年通り当センターも参加しました。絶好の天気で少し汗ばむくらいでしたが、すでに多くの団体や個人も参加していました。

当センターは、府中市体育館南の多摩川土手に受付を設置し、参加者は氏名・町名を記入し、ボランティアカードに印を頂き、受付完了。

田嶋地域委員長の掛け声で集合写真を撮り、3名一組で掃除用具やゴミ回収袋を受け取ったのちに、いよいよ清掃開始です。

土手の周りや草むらは、すでに清掃されていてゴミを探すのも苦労するほど。ときたま、たばこの吸い殻などを見つけるとそれを大切そうにゴミ袋に入れていました。

その先の、堰となっているコンクリートテトラの場所に行くと、水で流されてきたビニール袋や布類、ペットボトルがたくさんあり、何人かは足元に注意しながら、そちらに渡り、取り残されたゴミを集めていました。おかげで土手から見える範囲では、テトラポットの方までできれいになりました。

1時間足らずの活動でしたが、アッと言う間に終わり、各参加者は飲物と参加記念の携帯型熱中症計「見守りっち」を手に解散となりました。



小学生・高齢者自転車競技大会

5月30日（土）午前9時より晴天の下、府中第三小学校の校庭で自転車競技大会が開催され、センターからは、高齢者の部に2チームが参加しました。

主催は府中市・府中警察署・交通安全協会で小学生の部の優勝チームは東京大会に出場します。

各チーム6名の選手が出場して、交通安全の実技と学科を競いました。結果はシルバーBチームが、高齢者の部で11チーム中の5位入賞という好成績でした。

競技の終了後に第二部として、プロのスタントマンによる体験型安全教室が約1時間開催されました。スタントマンによる模擬交通事故の演技は、とても迫力があり観客に交通ルールの大切さを、強く印象付けました。



役員・班長・地域委員合同会議開催

6月1日（月）ふれあい会館にて合同会議が開催されました。

棟方会長の開会挨拶の後、松田常務理事から66回定時総会の議案、平成26年度の事業報告並びに決算の説明がなされ、27年度の役員改選と事業計画及び収支予算について説明がありました。

続いて田嶋地域委員長から今年度のセンター地域活動の運営方針とボランティア活動、センター主催事業の予定発表があり、行事への積極参加の要請がありました。

その後地域別に分かれ、地域懇談会等の進め方が話し合われました。

警視庁から「振り込め詐欺対策特別推進員」に任命された小林副会長から最近頻発している詐欺の発生状況、市民の対応についての説明がありました。



多摩地区・5市の「合同シルバーまつり」府中市で開催

シルバー人材センター・多摩地区第7ブロックの8市の内、5市（稲城、狛江、日野、府中、町田）が参加し、「合同シルバーまつり」が3月17、18日の両日、府中市の伊勢丹フォーリスで開催されました。会場では、11時から先着200名の来場者にマスク一箱（50枚）が配られ、花粉症の時期もあって大人気でした。

出店は稲城市の「リフォームグループ」、狛江市の「衣服工房ひまわり」、日野市の手芸班「工房クローバー」、町田市の「小物作り班」や「紙すきグループ」、府中市の「小物手作り班」等、各センターの作品が展示販売され大勢の来場者で賑わいました。

町田市は、東日本大震災で被災した岩手県陸前高田市のシルバー人材センターと交流があり、今回陸前高田市の「手芸サークル」の作品が特別出品されました。震災前は50人程いた担当会員が10人に減り、当初は針を持つ気にもならなかったとの事。その後、ヘルパーの仕事をしながら空き時間にシルバーの作業場に行き、大好きな手仕事をすることで気持ちが落ち着く時間が出来たとのメッセージもありました。

府中市は小物販売のほか、従来から人気のある「刃物研ぎ班」、近年定着して依頼も多くなった「お助け隊」のコーナーも設けてチラシを配り宣伝活動を行いました。

久しぶりの合同開催でしたが、近隣地区同士のセンター会員交流で親睦も深まり、お互いの活動も知り合えた有意義な二日間でした。



働く会員の職場訪問「お助け隊」

誰しも日常生活において体力がない、人手がない、時間がない等で困った事があると思います。そうした困り事をお手伝いしようと、昨年4月に始まった「お助け隊」の職場訪問です。コーディネーターの一人である山本久雄さんにお話を伺いました。

晴見町のふれあいショップ「ゆうゆう」に交代で詰める山本久雄さん、原伸吉さん、鑓水和夫さん3人のコーディネーターをはじめ、現在15名の隊員が活躍中です。

仕事依頼は、部屋や庭の掃除と粗大ごみの移動が最も多く、約4割を占めています。この他の依頼では、電球の交換、日常品の買い物、病院の薬の受取り、花の肥料の購入などがあります。この時期としては、網戸の張替えやよしずを張る仕事もあるそうです。

「お助け隊」の活動現場を見せていただきました。団地の4階からの粗大ごみ搬出作業で、高齢のお客様がその確認にみえ、安堵した表情を浮かべておられました。別のお宅では綺麗な花々に囲まれた庭の花鉢植え替え作業です。依頼主は隊員と顔馴染みで「安心してお任せでき、何度もお願いしています」とおっしゃっていました。この方のようなリピーターも多いとの事です。

お助け隊発足以来、仕事は順調に増えています。社会状況が核家族と高齢化で今後も利用は益々増える事と思います。

依頼相談は、「ゆうゆう」☎042―351―8695（木曜・日曜を除く）で受け付けています。料金は一作業1，000円（一時間以内）で、30分毎に500円追加です。お知り合いの方にもどうぞお勧め下さい。





シニア向け「スマートフォン教室」開催

4月16日（木）ふれあい会館において「スマートフォン教室」が開催されました。シニア世代のスマートフォン操作の習得を、シニア講師がサポートする教室です。高齢者自身の生きがいと生活の充実により活力ある地域社会作りにむけた主旨で、KDDI（株）とシルバー人材センターとのコラボレーションです。これまで港区・府中市・多摩市のシルバー人材センターが参加をしています。

近年、街で見かける携帯電話は、若者の殆どはスマートフォンですが、シニアの多くはガラケイです。シルバー世代も時代の便利さを享受しようと、受講者が参加しました。

講師は、KDDIの研修を経て試験に合格したセンターの金岡健二さんと、アシスタントの田中和美さんです。

教室は、スマートフォン画面の指先でのタッチパネルの使い方で始まりました。ガラケイのボタン操作と違い、胸先三寸ならぬ指先三分でインターネットや地図検索、メールなどが簡単に出来ます。また、音声でも入力が出来る（長文でも文章に拾い上げてくれます）簡便さにも驚きです。電話のかけ方や写真・動画の撮影方法なども教わり、スマートフォンの便利さを皆さんで実感した2時間でした。





生涯現役！輝くシルバーさん③



植木班で活躍する

国広 進さん

梅雨の晴れ間、分倍河原駅近くのマンションで剪定作業中の国広進さんを訪ねると、脚立の上から陽に焼けた顔を向けてくれました。

「在職中はデスクワーク中心だったので、退職したら屋外で働こう」。そう考えた国広さんが初めに門を叩いたのは東京都立多摩職業能力開発センター（立川市・当時）。庭園施工管理科で週5回、半年に亘って造園の職業訓練を受け、2009年9月にセンター登録しました。

こうして始まった植木班の仕事も早5年半。「木に登るのも苦手ではないし、茨城県にある実家が農家だったので、子どもの頃に生垣を剪定していたから」と屈託ない国広さんですが、高所での作業は危険を伴う上、樹種や花もの、実ものへの配慮など専門性が求められます。

それに応えるように国広さんは、2010年に造園技能士2級、2014年に1級の資格を取りました。二度目の挑戦となった1級の実技試験は、夏場に行われ、日本庭園のつくばい（＊注1）や延段（注2）、自由作庭などを3時間で行うという過酷なものですが、「造園会社の20～30代に混ざって、多摩職業能力開発センターの卒業生や50～60代も受けていました」と振り返ります。

植木屋さんの高齢化が進む一方で、植木班への申し込みも高齢者が増えており、ますます需要が高まる中「現状に満足しないで目標を持って挑戦を続けたい」と意欲的な国広さん。次のステージへの準備も進めています。



＊1 茶室に入る前に手を清める場所
＊2 敷石の一種

会員懇談会

センターと会員親睦会の共催で、会員懇談会が6月26日（金）グリーンプラザで開催されました。

最初にセンターの渋谷新会長・棟方前会長・松田常務理事の挨拶がありました。挨拶では会員相互の連携や親睦の大切さが語られ、親睦会の役割が確認されました。

次に親睦会の西隈幹事長より昨年の発足からの経緯や、秋のバス旅行の予定等が紹介されました。親睦会の新任幹事の紹介や、本日列席されたセンターの新理事からの自己紹介もありました。

会場の各テーブルには飲み物等が配られ、活発な意見交換で盛り上がりました。さらに、準備されたアトラクション（コーラス サファイヤ、民謡・民舞 日の出会）に大きな拍手が沸きました。

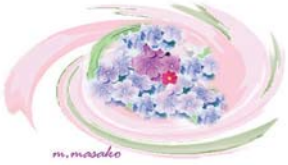




会員さんの投稿写真・絵画・書・俳句・川柳など



八木 正さん「キワーノ」夏：パソコン水彩



松島 正子さん「さくら草」：デジタルアート



二関 美沙子さん「南アルプスの青いケシ」：写真



田中 和美さん「郷土の森の山百合」：写真



小牧 光男さん「仮面舞踏会」：写真



金岡 健二さん「ピョートル大帝夏の宮殿」：写真



田嶋 淳さん「ネール蓮」：写真

老骨の我が身を鞭打ち勇定す
明日の糧得る夢を励みに

勇次郎

●毎号会員の皆様からの投稿をお待ちしております。下記 E メールアドレスまたは事務局まで奮ってご応募ください。
fsc@fsc.or.jp

役員・会員表彰

1．東京しごと財団表彰

センター役員経験者で退任した者（在任5年以上）

棟方鷹揚　小林敏彦
澤村一男　　3名

2．役員表彰

センター役員経験者で退任した者（在任4年以上）

棟方鷹揚　小林敏彦
澤村一男　　3名

3．会員表彰

センター会員として10年継続して就業した者

青木つね　板橋衛　伊藤正蔵
今井明　岩嵜髙敬　延命敏子
大澤紀夫　大塚正　荻野晃
甲斐智嘉　河合澄江　川村貢
久保田栄二　倉林三郎　小山郁子
斉藤順子　酒井鉄夫　阪本光子
坂本秀男　坂本利彦　佐藤亘
佐藤文子　重住勝子　芝辻克己
志村恒仁　城後實　鈴木フチ子
田代清　田中栄　田中君子
田中宏子　谷川和子　鶴岡功介
中島繁雄　中村武衛　楢島郁子
橋本征夫　服部信枝　原田智利子
福田節子　藤木信也　堀川秋雄
堀山務　本田節子　松原喜夫
宮城時男　宮坂勝男　宮崎紘一
宮田千吉　村田實　八木正
柳沢あい子　依田三郎　米田秋子
渡辺正　渡辺和昭
56名



平成27年度主な行事予定

実施月	行事名
8月	商工まつり（7～9日）
9月	交通安全式典（7日）
	財団安全推進大会（30日）
10月	府中市シルバー人材フェア（21～22日）
	けやき並木清掃ボランティア（23日）
	在年数別会員研修（26～27日）
11月	府中NPOボランティアまつり（21～22日）
1月	役員班長合同懇談会（15日）
	第2回安全推進大会（22日）
2月	第4回ふれあい作品展（19日～22日）

シルバー会員親睦会 秋の日帰りバスツアーご案内

9月29日（火）に府中シルバー会員親睦会日帰りバスツアーを計画中です。

行き先は、三島大社参拝、アサヒビール神奈川工場見学と試飲、沼津海鮮市場にて浜焼き食べ放題、三島わさび工場見学と試食・買い物などです。

※詳細は、8月のメール便でお知らせします。

■新規事務局職員採用

6月10日付けで事務局の臨時職員に採用されました。よろしくお願いいたします。



事務員　就業開拓推進員
大谷真弓さん　**長谷川宏之さん**



訃報

出口あき子（小柳町）
圖師征尋（北山町）
加藤和弘（若松町）

編集後記

「第66回定時総会」も無事に終わり、新役員による体制がスタートしました。

広報紙「ふれあい」も全面カラー化で2回目となり写真も鮮やかに見やすい紙面で構成できるようになりました。

今後も多くの催し情報、会員の活動状況そして会員のご意見や各種投稿作品も掲載していますので、お気軽にお寄せ下さい。

ホームページ　http://www.fsc.or.jp/
Eメール　fsc@fsc.or.jp